

文部科学省「再生医療の実現化プロジェクト」
ヒト多能性幹細胞の培養・解析の標準化レクチャーシリーズ 第6回

幹細胞の遺伝子操作の**実践**

相同組換え、モニタリング、そして更なる新技術

イントロダクション

幹細胞の遺伝子操作:課題と展望
理化学研究所 CDB 笹井 芳樹

技術紹介

Genetic Engineering of Cells and Animal Models using Zinc Finger Nuclease Technology

Sigma-Aldrich Co. LLC. Trevor N. Collingwood

ゲノムワイド且つ染色イメージが豊富なヒト用抗体
Prestige Antibodies

シグマ アルドリッチ ジャパン 株式会社 杉本 貴司

ヒト幹細胞での実践

ヒト幹細胞でのZFNによる相同組換えの実践
住友化学株式会社 安藤 寛

ヒトES細胞への遺伝子導入のコツ

理化学研究所 CDB 大串 雅俊

遺伝子操作技術の最前線

人工RNAを用いる新しい遺伝子操作技術

京都大学 CIRA 齊藤 博英

Lentivirusを用いるES・iPSへの遺伝子導入と解析

理化学研究所 BRC 三好 浩之

遺伝子発現ベクターとしての人工染色体

鳥取大学 染色体工学研究センター 押村 光雄

お問い合わせ

理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター 学術集会担当

Tel: 078-306-3009 E-mail: cdb-mtg@cdb.riken.jp

または

シグマ アルドリッチ ジャパン株式会社 ライフサイエンス事業部

Tel: 03-5796-7400 E-mail: sialjpls@sial.com

URL: <http://www.sigmaaldrich.com/japan.html/>

参加申し込み

下記ウェブサイトをご参照の上、オンラインにてお申し込みください。

講演会場の席数には限りがあり、定員に達次第受付を終了させていただきますので、あらかじめご了承ください。

<http://www.cdb.riken.jp/gene2012/>

2012.2.2 (木)

13:15~17:30 (12:45開場)

会場

理化学研究所
発生・再生科学
総合研究センター

C棟1階オーデトリウム

参加費
無料

事前登録要

幹細胞研究における遺伝子操作は、分化制御、モニタリング、細胞分離など様々な点で重要な技術です。しかし、マウス細胞に比してヒトES細胞やiPS細胞などのヒト幹細胞では、相同組換えをはじめとする遺伝子操作に技術的な困難を伴うことが多く、工夫が必要です。本ワークショップでは、ヒト幹細胞研究に役立つ実践的な技術とそのコツ、そして新しい方法論のご紹介を致します。奮ってご参加ください。